

— 新宿区立漱石山房記念館 —

令和5年度 年間スケジュール

《通常展》テーマ展示

漱石・修善寺の大患と 主治医・森成麟造

4月13日〔木〕 ▶ 7月9日〔日〕

胃潰瘍を患っていた夏目漱石は明治43(1910)年8月24日、修善寺での療養中に体調が悪化し、大量吐血の後に一時昏睡状態に陥ります。この出来事は「修善寺の大患」と呼ばれ、その後の漱石



森成氏別宴記念写真

の作品に影響を与えた大事件として知られています。この時、懸命に治療にあたり、漱石の一命をとりとめたのが医師・森成麟造です。展示では、二人の関係に着目します。

《通常展》テーマ展示

『硝子戸の中』と 漱石のみた東京

7月13日〔木〕 ▶ 10月15日〔日〕

『硝子戸の中』は、大正4(1915)年に東京と大阪の朝日新聞に掲載された夏目漱石の作品です。その中には、周辺の人々のことや



夏目漱石『硝子戸の中』(岩波書店、大正4年)

思い出とともに、漱石山房のあった早稲田や神楽坂をはじめ、漱石が生きた時代のまちの様子も記されています。漱石の眼で捉えた東京の風景を、文章とともに写真や資料で辿ります。

《特別展》

夏目漱石と 野上豊一郎・弥生子(仮)

10月21日〔土〕 ▶ 12月17日〔日〕



野上豊一郎『漱石のおせり』
(鉄塔書院、昭和5年)

第一高等学校そして東京帝大での漱石の教え子であった野上豊一郎は、妻となった弥生子と共に漱石門下の木曜会のなかで作家として成長しました。豊一郎の業績は能楽の研究が有名ですが、若き日の小説や文芸評論も見逃すことはできません。豊一郎生誕140年を迎え、豊一郎・弥生子と漱石の交流の軌跡を資料で辿ります。

《通常展》

夏目漱石と漱石山房

令和6年
12月23日〔土〕 ▶ 4月21日〔日〕



早稲田南町の書斎に於ける漱石

漱石山房記念館の所蔵資料の核となる「松岡・半藤家資料」をはじめとした、当館が有する代表的な資料を中心に「夏目漱石」と「漱石山房」を紐解きます。また、学芸員一押しのごだわり資料や新収蔵資料も紹介します。

※「松岡・半藤家資料」…漱石の長女・筆子と漱石門下生の作家・松岡譲の娘で、当館名誉館長の半藤末利子氏から新宿区に寄贈された資料です。

主な催し物

開催日時等、詳細は漱石山房記念館ウェブサイト、Oh!レガス新宿ニュースでご確認のうえ、お申し込みください。

- ◆九日会 …… 漱石の月命日(9日)に、門下生たちが漱石を偲んで集まったことにちなむイベントです。
 - ◆文学講座 …… 漱石の作品をより深く読み解く連続講座です。
 - ◆開館記念講演会 …… 9月24日の漱石山房記念館開館記念日にちなみ開催する講演会です。
 - ◆文学さんぽ(2回) …… 漱石の命日(12月9日)等に漱石ゆかりの場所や、作品にまつわる場所をめぐるまち歩きです。
 - ◆朗読会 …… 漱石の誕生日を記念した朗読会や、さまざまな団体と連携した漱石作品の朗読会です。
- この他にもさまざまなイベントを予定しています。



漱石山房記念館
ウェブサイトは
こちらから



新型コロナウイルス感染症の状況により、記載内容に変更が生じる場合がございます。また、感染症の拡大を防止し、皆さまに安心してご鑑賞いただくために、必要な対策を講じて開館しております。詳細は当館のウェブサイトにてご確認ください。皆さまのご理解とご協力をお願いいたします。